

第5回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会 議 録

日 時：平成27年11月9日（月）

場 所：徳山保健センター 健診ホール

【会 議 次 第】

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 事

(1) 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

(2) 周南市総合戦略に対する意見書（案）について

4 その他

5 閉 会

《 配付資料 》

- ・周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）
- ・周南市総合戦略に対する意見書（案）

《 参考資料 》

- ・第5回まち・ひと・しごと創生戦略会議 配席表
- ・周南市総合戦略に関する決議

第5回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日 時 平成27年11月9日（月） 10時00分から

場 所 周南市徳山保健センター 健診ホール

出席者 ・委員 20名

小林 和子、有吉 毅彦、佐伯 哲治、竹村 恭典、牧 洋史、原田 康宏、
河村 啓太郎、江本 伸二、石川 英樹、稲葉 和也、中川 明子、徳永 徹、
岡田 浩、姉ヶ山 将和、横道 秀彦、藤田 徹、藤本 賢司、石光 須美恵、
竹田 英保、中村 孝史

・周南市長 木村 健一郎

・事務局 7名

企画総務部

部長 近光 慎二、部次長 原田 義司

企画総務部政策企画課

課長 高木 一義、課長補佐 行富 広康、企画担当係長 中村 貴子、
主査 中村 成孝、主任 山本 彩乃

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市長あいさつ

皆さん、おはようございます。周南市長の木村健一郎です。

皆様におかれましては、7月の第1回会議から、5カ月にわたり、この会議にご参画くださり、「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて、専門的なお立場から様々なご意見等を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、本日、素案という形で皆さまにお示しするところまで進めることが出来ました。

ご承知のとおり、この総合戦略は、本市における経済分析や2060年までの人口の将来展望等に基づき、人口減少抑制に向けて、今後5年間で戦略的に取り組むべき施策等をまとめたものであり、本市にとりまして非常に重要な計画の一つとなるものでございます。

「未来に贈りたい周南（まち）をつくる。」

本日が最後の会議とはなりますが、これを目指し、12月の策定に向け、引き続きお力添えを賜りますよう今一度お願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

(1) 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

◇事務局 ～「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」説明～

○会長 ただいまの事務局からの説明で、何かご質問がございましたらお願いします。

●委員 本日、意見書(案)に対して、さらに追加で意見をするのであれば、市議会からの提案書も読ませていただかないと重複した意見が出ると思うが。

○会長 今回、この創生戦略会議(有識者会議)は、当初から策定に深く関わって、行政と一緒に作ってきましたが、今の質問に対して事務局からお願いします。

◇事務局 現在、パブリック・コメントを実施しています。また、市議会からいただいた意見もこの素案には反映されていません。第4回創生戦略会議(有識者会議)までにいただいた意見のうち、創生推進本部(市役所内組織)として素案に反映できる意見は、取り入れてここで作り上げてきました。本日お示した素案に対する意見につきましては、1週間程度、ご意見を伺う期間を設け、最終的に有識者会議からの意見としてはどうかと考えております。

○会長 最終的に、市長の判断で総合戦略を策定されると思いますが、数か月間、行政と一緒に作ってきたため、かなり我々の意見が反映されたものになっているとは思いますが、しかし、全てが反映されたものとはなっていないので、この有識者会議の意見として、まとめたものを作ってはどうでしょうか。

●委員 素案のP58の「数値目標」が「人口1,000人あたりの出生数」となっているが、出生率ではなく、1,000人あたりの出生数とした意図は、何かありますか。

◇事務局 先ほどの、人口ビジョンの説明でも申し上げましたが、もともと周南市の出生率は、全国平均などよりも高いことから、出生率よりも、実際の出生数に着目して目標としています。

●委員 これを出生率に直すと、結構、高い数値となりますか。

◇事務局 具体的にそこまで算出していませんが、現在は、1.64なので1.70ぐらいいくかもしれません。今後、5年間(平成27年度含む)は、これぐらいの出生率は維持していきたいという考えを持っています。

○会長 出生率となると女性1人あたりの出生数となりますが、少し違った視点からの目標となりますが、ちょっとわかりにくい視点かもしれませんね。

●委員 素案のP44の社人研の人口推計より、周南市独自の人口推計が、高くなっているが、総合戦略に取り組んでいくことによって、101,000人の人口になっていくということですか。

◇事務局 社人研の推計は、全国統一的な考え方の推計となっていて、推計としては精

度の高いものと考えられています。周南市独自推計は、市民の希望出生率と周南市からの転出人数を抑制するような施策を展開していくことによって達成できるだろうという推計値です。

- 委員 この101,000人を目指すという感覚でよいのですよね。
- ◇事務局 そのとおりです。
- 委員 周南市版ネウボラは、部会では全く出ていなかった案ですが、これが素案に出てきた背景を教えてください。
- ◇事務局 ネウボラは、子育て先進国であるフィンランドの制度ですが、子育てに関する相談を総合的に受け付ける「場所」です。こうした相談体制を、まずは確立することが、将来的な子育て支援につながっていくとの考えから、素案に記載しております。
- 委員 部会での協議の中で、子供の生きる力ということを申し上げてきましたが、屋内だけの施設を考えるのではなく、外の環境も含めた施設の計画を総合戦略に盛り込んでいただきたいと思います。
- ◇事務局 貴重なご意見だと思いますので、総合戦略の中に盛り込めるか、庁内で検討していきたいと思います。
- 会長 他に質問等が無ければ、次の議題について、説明をお願いします。

(2) 周南市総合戦略に対する意見書(案)について

- 会長 ～「周南市総合戦略に対する意見書(案)について」説明～

前回の会議で、これまでの全体会や部会で出た意見については、意見書としてまとめて市に提出することに決定していましたが、本日伺った意見の他に、追加での意見や訂正等がありましたら、11月13日までに事務局までご連絡ください。
- 委員 意見書に記載されている意見が、全て総合戦略に反映されるわけではないですね。
- 会長 現在、市が実施されているパブリック・コメントや市議会の提案、そしてこの意見書を踏まえて、最終的には市の総合戦略推進本部で決定されることになると思いますので、全ての意見が100%反映されるということにはならないかもしれません。ただし、極力、意見を反映していただければというのが、私からの市へのお願いです。
- 委員 話が少しそれるかもしれませんが、素案のP72の4行目に、「民間活力導入」という言葉がありますが、これは大いに喜ばしいことだと思いますが、「図書館を核とする」とあるが、駅ビルの用途について、我々は何も聞いていない。
今、色々なまちで「CCC」について、訴訟問題が起きている。
私が聞いた話では、年間の指定管理料が1億円程度かかる。私は、収支バラ

ンスを考えた、稼げる行政、違う能力を持った行政の必要性を、従来から申し上げてきました。この中に、稼げる力を示す内容があるのか。今後は、市の公共施設を有効に利用することによって、多少なりともリターンをいただくという考え方が、総合戦略には必要だと思います。

駅ビルについて、具体的な話がどこまで進んでいるのか、わかる範囲で結構ですので、お話いただければと思います。

◇事務局 民間活力導入図書館につきましては、徳山駅に賑わいを創出する一つ的手段として、従前より検討を進めています。その中で「CCC」とは、企画提案などを受けながら、議論を進めているところです。その管理手法としましては、導入の趣旨にもありますように、民間活力を最大限生かすという意味で、指定管理者制度の導入を検討していますが、管理経費等については、詳細を詰めている段階です。

◆市長 まちの魅力、徳山駅をどのようにしていくかということは、今まで、デザイン会議をはじめ、市議会特別委員会、市民アンケート、シンポジウムなど様々な議論を重ねてきた中で、民間の活力を大いに利用した新しいタイプの図書館を作ろうという話になっています。また、可能な限り民間の発想を活用し、無駄を省き、お金をかけずに運用していかなければと思いつつ検討を進めています。

この民間活力導入図書館は、現在、「CCC」と、どのような空間にしていけばよいのかといった相談には乗っていただいておりますが、来年の秋ぐらいに、指定管理者を決めていきますし、その空間づくりににつきましては、内藤設計事務所に設計をお願いしているところです。詳しいことは、来年の秋口までに決まっていきますので、今後とも、皆さん方のご意見をしっかりお伺いしていきます。

本市の図書館と他市の民間活力導入図書館が違うところは、本市の図書館は5つの図書館があります。この5つの図書館は、本の貸出だけでなく、大切な資料の収集・分析・研究していく「知の拠点」としてあるべきだと思いますので、今後も、直営で、長期間にわたり市の文化を育てていったらよいかという視点で運営していきたいと思っております。

新駅ビルにできる図書館は、本を様々なカタチで楽しむ、新しいタイプの図書館を想定していることです。

●委員 意見書(案)を読ませていただくと、私の意見も含めて、非常に詳しくまとめてあると思いますので、市長にこの意見書をしっかり読んでいただいて、議会からの案やパブリック・コメントなどを踏まえて、最終的にまとめていただければと思います。まだ、この意見書(案)に加える意見があれば、加えればよいと思いますが、総体的には我々の意見は網羅されていると思います。

○会長 その他、ご意見はありますか。それでは、11月13日で期限は区切らせて

いただきますが、追加でのご意見がありましたら事務局へご連絡いただければと思います。それを含めて、市長へお渡ししたいと思います。

○会長 その他、全体的にご意見がありますか。

●委員 お願いですが、素案のP83の「総合戦略の推進体制」、「総合戦略の進捗管理」がありますが、もっと具体的な形が分かる文言を書いてもよいと思います。

◇事務局 まず、内部でもしっかり進行管理・評価を行い、それに加えて、金融機関や学識経験者の方を中心に、外部評価委員会として、中立的に評価していただきたいと考えております。

●委員 素案のP37の市民アンケートで、約2割の人が周南市から移住したいと考えているという結果にショックを受けています。総合戦略は、ぜひ、市民の皆さんにわかりやすく、例えばリーフレットのようなもので伝えていただければと思います。

別の話になるかもしれませんが、「周南市がこう変わりますよ」ということが、市民全員にわかるようなものにしていただければと思います。「最終的に、周南市はこうなる」ということを、皆さんが理解して、一つずつ進めていくことが出来たらよいと思います。

◇事務局 まずは、総合戦略の内容を市民に理解していただくことが重要だと考えています。今、委員からご提案のありました方法も含めて、周知の方法や広報活動を検討していきたいと思います。

●委員 (素案P80、81) これから高齢化社会を迎えるにあたって、移動手段として重要なのはバス路線です。高齢者にとっての移動手段であるバス路線の確保に関する記述は入れていただきたいと思います。

もう一点、周南合併の経緯も含め、熊毛地区・鹿野地区を優先とは書けないかもしれませんが、ぜひ、重点的に取り組んでいただきたいと思います。

○会長 その他、いかがですか。無いようでしたら、進行を事務局へお返しします。

4 閉会

◇事務局 ありがとうございます。

本日で最後の会議となりますので、市長より一言ご挨拶を申し上げます。

○市長 皆様、本当にありがとうございました。

7月から5カ月にわたり、皆さまの専門分野のご意見を伺うことが出来ました。各部会におきましては、市の中堅若手職員も入りまして、委員の皆さまと共に作り上げた素案だと思います。

今日からは、パブリック・コメントにより市民の皆さまから、広くご意見を伺うことにしておりますし、市議会からは決議もいただいております。周南市の魅力を訴えるような市政運営をしてまいります。

12月の策定に向けまして、意見書も楽しみにしていますし、その内容も隔々まで、しっかり拝見させていただきまして、総合戦略に反映させたいと思います。これからも、共に、そして力を合わせて、みんなで素晴らしい周南市をつくっていかうと思いますので、これからもご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

誠にありがとうございました。

◇事務局 以上をもちまして、「第5回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」を終了いたします。本日は大変ありがとうございました。